

# シルバー 茅野広域

第70号 令和3年1月31日発行  
 (公社)茅野広域シルバー人材センター  
 長野県茅野市塙原2丁目5番45号  
 電話 0266-73-0224  
 0266-73-4499  
 FAX 0266-73-0227  
<https://webc.sjc.ne.jp/chino/>  
 富士見事務所 富士見町落合10039番地4  
 電話 0266-62-7766  
 FAX 0266-62-7802  
 原事務所 原村12091番地の3  
 電話 0266-79-5979  
 FAX 0266-79-5978



撮影:両角強 会員

## 年頭にあたり

理事長 宮坂壽一



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にまことに心よりお慶び申します。今年もこうして新年を迎えることができましたことは、健やかに新年をお迎え上げます。今年もこうして新年を迎えることができましたことは、会員をはじめ関係者皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年は、コロナの影響もあり、緊急事態宣言発出時の契約月額は前年度比で三割減迄落ち込みました。その後は徐々に回復基調になります。また、会員数は減少することなく微増傾向にあります。

今年は、三つのキーワードを基に丑年らしく、一步一歩確実に進んで行きたいと思います。

まず一つ目は「連携」です。理事会・会員・事務局が一丸となつて事業運営に当たることであり、シルバーの活動をサポートする事務局の体制確立が不可欠

です。昨年は事務局の強化を最重点目標として組織力を改善に着手しました。今年は、会員の皆様への技術講習、健康管理を通じ連携を強化したいと思います。

二つ目は、「現場主義」の徹底です。理事と事務局が連携し、定期的に就業先を訪問し、実態を把握する仕組みづくりに取り組みます。現場状況の確認を通じ、課題・問題点を明確にし、事故やクレーム等の発生を未然に防ぐ働きかけを行つてまいります。

三つ目は、「気づきの提案」です。皆様の幅広い・知識や経験から就業先で気づいた改善提案を、シルバーのソフトパワーとして提案する仕組みづくりに取り組みます。以上、三つのキーワードを着実に実践して行くことが契約額の増額・会員の増加、そして事故やクレームの減少につながると確信しています。

最後に、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 組織市町村長との懇談会実施

令和2年度の市町村長との懇談会を10月26日茅野市を最初に、11月2日富士見町、11月4日原村で実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加人数を減らして理事会長、事務局長、各専門委員長、互助会長、事務局が出席して実施しました。

懇談の始めに宮坂理事長から当センターに対してご支援ご協力のお礼と感謝を述べ、大変厳しい経済情勢の中、当センターの事務局体制の強化やシルバー組織の活性化と会員資質の向上など、課題解決のため決して順調な運営ではないが改善に向け取り組みを進めているので、市町村におかれましては厳しい状況下ではありますが次の事項について特段のご配慮をお願いして懇談に入りました。

懇談の要旨は次のとおりです。

- ①シルバー人材センターは「自立・自立・共働・共助」と言われますが、現実的には国や市町村からの補助金により運営が成り立っているため、引き続き財政的援助をお願いしたい。
- ②高齢者の就業機会の拡大を図り、



併せて活力ある地域社会づくりを進めため、市町村関係の業務について引き続き積極的にシルバー人材センターにご発注頂くようお願いしたい。

③市町村からシルバー人材センターにご発注いただいているさまざまなお問い合わせには、日常のお願いごとについても、それぞれのご発注いただいている担当部署に依頼をしておりますが、「職場での気づき」として中長期的な改善や様々な情報を吸い上げていただく仕組みづくりの検討をお願いしたい。

④茅野市で開始を予定している介護

予防・日常生活支援事業の訪問型サービスAの提供に向けて準備をしているので、訪問型サービスAのサービス提供での連携とケアプラン作成等に支援をお願いしたい。

以上4点を中心様々なシルバーカーの活動、又市町村からのアドバイスや提案を頂きました。

特に今年度新たに懇談の要旨に加えました「職場での気づき」につきましては市町村からも協力して頂けることとなりました。

明けましておめでとうございます。本年も皆様が健康で活躍して頂ける様、委員会としても努めて参ります。

令和2年度は新理事長の下、役員・会員・事務局の連携を更に強化すべく活動の在り方について検討して参りました。

総務委員会においても、就業先との信頼関係を更に向上させ就業拡大、会員拡大に結びつけるべく事業内容、役職員の連携、就業先との関係、情報活用の4つの観点で活動内容の見直しを進めて参りました。検討結果は、理事会を経て皆様のより良い活動に向け別途ご案内をしてまいります。併せて皆様には、シルバーの理念を再認識いたぐと共に、総会をはじめとした各種行事に積極的に参加いただく等、会員としての原点を振り返っています。

コロナウイルス問題は、先が見えない状況ですが、「新しい日常」を

「当たり前」と捉え、マスク・手洗い・

消毒・三密回避等、感染予防を万全に

して、難局を乗り越えましょう!

## 香員会報告

## 就業香員会

令和2年度は、次の3点を重点に取り組んで参りました。

①会員増強活動について

各企業雇用延長、就業先減少、会員高齢化等、様々な阻害要因が有る中で、昨年に続きお友達作戦や、会員・就業先紹介キャンペーンを実施しました。また、入会説明会の資料見直し及び、就業募集内容紹介等、内容充実を図って参りました。

②就業公平化・適正化について

プラスワン作戦の展開と未就業者への就業声かけ運動実施等により、改善を図りました。

③就業ニーズにあつた会員確保や就業先開拓について

就業先の拡大は最重要課題であり、高齢者活用と現役世代雇用サポート事業コーディネーターを置き、業務開拓、就業先確保に取り組みました。

以上の結果、本年会員目標数700名に対し、11月末現在675名の実績となつており、いま一段の努力が必要です。

今後は、お客様アンケート実施により、多くの貴重なご意見を参考に、当人材センター発展に役立てて参ります。

## 安全委員会

施されていました。  
全員で安全の意識を向上して事故を減少させゼロを目指しましょう。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて

**密閉空間**  
換気の悪い密閉空間を避ける

**密集場所**  
大人数が集まる密集場所を避ける

**密接場面**  
近距離での会話や発声をする密接場面を避ける

「3密」を回避して  
みんなで感染拡大を防止しましょう

**一致団結!**

上期の事故は8件で昨年の年間件数を既に上回った。特に飛び石事故は6件と突出し、委員会では現場検証を行い原因の追究と対策を検討した結果、皆さんへの安全作業の周知不足が上げられ、チラシを作成し又遅れていた飛び低減刃（テスト）と一緒に配布、「山麓だより」に草刈作業の安全就業を掲載した結果、10・11月の飛び石事故は1件に減少した。

今後は駐車場や建物の近くでは石が飛ばない安全回転バリカンの使用で検討します。

8月の県安全・適正就業パトロール（剪定作業）では指摘事項無しの百点、又管内9・10月現場パトロール（草刈り作業）では安全作業が実

行され、皆さんへの安全作業の周知不足が上げられ、チラシを作成し又遅れていた飛び低減刃（テスト）と一緒に配布、「山麓だより」に草刈作業の安全就業を掲載した結果、10・11月の飛び石事故は1件に減少した。

会報「シルバー茅野広域」の第69号を令和2年8月31日に、第70号を令和3年1月31日に発行し、会員の皆様や地域の公共施設でも手に取つて見て頂ける様配布致しました。

「八ヶ岳山麓だより」は会報発行の中間期、令和2年11月5日に発行致しました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初に計画した事業等が中止になつてしまい「事

業や会員の活動状況を紹介し相互理解が深まる紙面づくりに取り組みま

す」と申しましたが、内容不足で目

標には中々近付く事が出来ておりま

せん。コロナの早期終息を願う事はもちろんですが、紙面構成等も考えて行く必要性を感じています。

お忙しい中投稿頂きありがとうございました。

これからも皆様方の御意見投稿をよろしくお願い致します。

## 広報委員会

◎令和2年度第5回理事会

8月31日

- 役員研修視察及び大型店街頭啓発活動の中止について

- 組織市町村長との懇談会の開催について

- 地域班のブロック担当理事について

- 独自事業年度計画兼助成金申請について

- 第2期中期計画策定委員会の設置及び規程の一部改正について

- 介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスA運営規程の制定について

- 組織市町村長との懇談会の結果について

- 事務局体制の強化について

- 中間監査（上半期）の報告について

12月24日

## 理事会だより

からだの衰え度 チエック

10月30日（金）・31日（土）、ゆいわーく茅野3階集会室で「からだの衰え度チェック」を開催しました。コロナ感染予防対策を取り密を回避し、30分間隔で8名限定の完全予約制にしましたが、一日間で100名の

参加が有り、関心の高さを感じました。カーブスのインストラクターが一人ずつ付き添ってくれ、血管年齢測定では、40代から70代までのそれぞれの結果に一喜一憂していました。床に付けた十字の目印の上で、正面を向き目を閉じてその場で40回足踏みをするとき、目印から前後左右にそろえていて目を開けてビックリ。「筋肉が衰えるとからだに歪みが出て前後に左右にそれてしまう」という説明に納得し筋肉の重要性を感じていました。下肢や上腕の筋肉のチエックでは、有酸素運動では増やせない筋肉を増やすためのアドバイスを受けました。90%の方に「役に立つ」と感じていただき、「老化は仕方無いが改善が期待出来る事に希望を持ちました」「血管年齢の数値を知る事が出来大変参考になりました」「個人対応で丁寧に教えていただき有難うございました」などの感想をいただきました。



## 冬の安全就業について

冬期は積雪や凍結によるスリップ事故が多く発生します。転倒事故や車の事故に注意しましょう。時間に余裕をもち、事故をおこさない、あわないよう常に安全に心掛けましょう。



「年女だから一筆書いて」との依頼が舞い込みました。実は「シルバーの年女」には抵抗があるのですが、これも何かの縁と受ける事にしました。思えば、定年退職した時から何か社会参加をしたいと考えていました。そんな時にシルバー人材センターから「保育園の早朝保育をやってみないか」と声が掛かり、不安を持ちながらも引き受けました。

私は10代の頃より保育の仕事をしたいと思っていましたが、果たせずに会社勤めとなりました。これで夢が叶つた事になりましたが、朝のみのお手伝いです。それでも短時間ですが園児と触れあえるのが楽しみとなりました。

今は、毎日その子供達から元気を頂くために早起きとなり、規則正しい生活を送れるようになりました。冬期には辛いと思う事もありますが、これも長生きの秘訣と頑張っています。

年男になつた

「年女だから一筆書いて」との依頼が舞い込みました。実は「シルバーの年女」には抵抗があるのですが、これも何かの縁と受ける事にしました。

年男になつた

理事の方から電話がきた。抽選に当たったと言う。喜びも束の間、不安に変わった。会報に載せる「年男・年女」の原稿を書く人に当たつたとのことである。

PTAの役員をしたり、趣味の社交ダンスは21年になります。旧職業訓練校の洋裁教室、両親の介護で10年間のブランクがありました。今も続いています。ノルディックウォーキングやボランティアで、傾聴にも参加しました。又、シニアインターネットで検索すると、「生まれた年と同じ十二支の年を迎えた男女である。(中略)ただし、生まれた年には、年男・年女である」とあるがここまで分かった。また、年末年始の家の仕事を取り仕切る家長のことも、年男と呼んだことである。自分の干支を迎えた「年男」と、年末年始を仕切る「年男」(昨今はこの風習はほとんど見られない)、二つの意味があることを知った。

検索していくと色々関連付いて面白い。コロナ感染の終息を願いつつ、6回目の年男を迎えたのを機にもつと調べてみたい。



### センターの会員になつて

原 門 口 静 子



茅野 山岸 正衛



将来の夢は保母さん!!

茅野 角川 良子



富士見 江口 てるみ



富士見 江口 てるみ

子供が大好きだった私でした。小学生の頃の作文に、「大人になつたら保育園の先生」と書いた事を覚えています。大人になり、夢を実現せず、いつの間にか会社勤めも定年となつてしましました。これからはゆっくり過ごそうと思つていい。

私の元気の源

保育園で仕事をさせて頂いております。時には頭の痛い事、嫌な事、体が思う様に動かない事、色んな事がありますが、小さな子供達に沢山パワーを貰い時間が過ぎるのも忘れ、楽しい日々を過ごしています。

これからも子供達の安全を第一に、毎日楽しく遊んだり悩んだりしながら、もうちょっとと頑張つて続けて行きたいと思っています。

寒さも厳しくなり、コロナ禍で先の見えない不安も隠せませんが、働く場所がある事、周りの人達の笑顔がある事に感謝します。シルバー人材センターの会員の皆さんに感謝しながら保育園の先生の皆さんと世界のたから、保育園の子供さん達と仲良く元気にがんばって行きたいと思つています。よろしくお願ひします。

頃、延長保育の仕事を誘われ、大好きだった子供達に携わる仕事につく事が出来ました。入園当日はまだ歩けなかつた子が、一步二歩と歩けるようになり、成長の早さに驚かされ、自分の子育て時期を思い出しながらの毎日です。疫病(コロナ)も予防対策をしつかりし、元気な子供達の姿にパワーをもらい、今まで出来なかつた想いも楽しみながら、健健康な身体を維持し、次回の年女まで続けられるよう頑張りたいと思います。



幸せは人生の最後にも

原 山 下 ナツ子

いきいき

# 就業現場報告

私達の仲間はいろいろな所で活躍しています。

3月15日が初出勤と、とんとん拍子に事が進んで行き不安もありました。が、それ以上に75才でも働かせていただける仕事に出会えたこと、又、通勤の途上が広大な自然の中であり、大好きな八ヶ岳を見ながら通うこと出来る喜びの方が大きかつた様に思います。

月に8日前後、1日3時間の勤務はもの足りない気もしますが、食器を洗つたり、お料理をお皿に盛りつけたり、楽しくて仕方がありません。学生さん達の「御馳走様でした」の挨拶も爽やかで、心温まるもののひとつです。

シルバー人材の会員になり、まだ10ヶ月ですが、健康で働くことの喜び、人と言葉を交わすことの喜びに感謝しつつ、八ヶ岳の季節の変化を見るのを楽しみに、出勤日が待ち遠しく過ごしております。

”山いくつ こえこし 思いにひたりつつ 最後の職場の皿一枚も愛しい“

業務でした。利用者を乗せているので運転には大変気をつかいました。運転には、自信がありましたが、だんだん年を重ねるようになり、事故を起こしてからでは遅いので、前から宿直業務があつたらお願ひしてあり、空きがあったので、宿直業務に変わりました。夕方勤務につき、戸締りの確認をし、カーテンを閉め作業を行なう。夜のため、介護職員は少人数で行なうため、利用者が無断で外に出て行つては困るので、宿直員が戸締りの確認をするのが主な仕事である。介護職員も、利用者の身の回りの始末をし、寝るひまもなく見回りをしている。大変な仕事であると思いました。今日の宿直が終わり、日誌を書いて宿直の仕事が終わりとなります。お疲れ様です。

12名の指導を頂きながらの毎日です。8月から勤め始めて4ヶ月が過ぎましたが、まだまだ先輩方に追い付くには程遠い状態です。なんといってもお客様が第一をモットーに勤めたいと思っています。

コロナの問題があり、皆様方におかれましても大変な時期でしようが、よろしければ是非ともお出掛け下さい心身をお休め下さい。多くの知らなかつた人達と接する事の出来る喜びを願いながら、仕事をしていきたいと思っています。



## りんどう苑の宿直業務について

茅野 平澤 紀義

今年の2月始め知人に誘われシルバー人材センターに行きました。2月12日説明会、2月20日面接となり、早速八ヶ岳農業実践大学の学生さん達の食事の調理補助の仕事が決まりました。

3月4日には大学から予定表と工プロン、三角布をいただきに行き、

## ふれあいセンター富士見にて

富士見 北原秀行



6月にシルバー人材に登録して、

富士見事業所のご厚意によつて八ヶ岳の一望出来る入浴施設で朝8時から夕方6時まで働き始めました。

長い間、金属加工の製造業でしたから、その道の人達だけの関わりが

多くてあまり多様な社会など知らずに過ごしてきました。仕事内容はお客様の迎えから、受付、施設内の機械点検作業から、内外の清掃除菌などです。私にとつては全てが新しい仕事ですから、昼と夜の新しい仲間

12名の指導を頂きながらの毎日です。8月から勤め始めて4ヶ月が過ぎました

が、まだまだ先輩方に追い付くには程遠い状態です。なんといつ

てもお客様が第一をモットーに勤めたいと思つています。

コロナの問題があり、皆様方におかれましても大変な時期でしようが、

よろしければ是非ともお出掛け下さい心身をお休め下さい。

多くの知らなかつた人達と接する事の出来る喜びを願いながら、仕事をしていきたい

いと思っています。

ありがとうございました

## つどい販売会に120人

11月16日から11月21日の間、会員が手作りした布小物や編物、和服や着なくなつた洋服のリメイク品、喫茶班で作る7種類のおやき、わら細工班の作品、野菜等の販売を行いました。

期間中、120人の会員や地域の方に来ていただきました。つどいを知つてもらう良い機会になつたと思います。これからもつどいが会員や地域の皆様の憩いの場になれたらと思います。



コロナ感染予防を踏まえての休業のお知らせ

## ◎期間

令和2年12月26日から  
令和3年3月31日まで

◎おやきの注文はいつでもお受けしています。

◎つどいの使用、おやきの注文の申し込みは：

090-5516-9409

店長白尾まで

## つどいからのお知らせ

新任 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業  
コーディネーターの紹介

小池幸夫さん

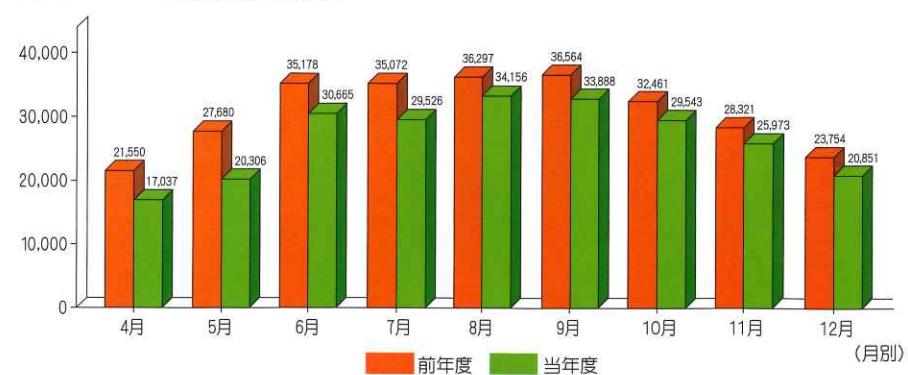
9月1日より拝命いたしました。小池でございます。

就業開拓等、会員皆様のお役に立てればと努めます。お世話になります。よろしくお願ひ致します。

## 2020.12.31 センター状況

会員数	675人
茅野	394人
富士見	209人
原	72人
契約金額	241,945,000円
前年比	87.4%
傷害事故	0件
損害賠償事故	8件

## (令和2年度) 契約金額の推移



70号発刊に感謝!



あとがき

(令和2年10月15日から12月31日までの新入会員)

富士見 小林 治樹 宮坂喜代子  
市村 和幸 服部 照代  
海野 純子 篠原 郁子  
柳平 恵子 矢嶋 千弘  
渋木 節 小平 美和子  
高橋 玉子 柳沢 春登  
柳沢 春登

## 新入会員さん紹介